

老人医療費有料化から40年 受診控え深刻、75歳以上医療費 窓口2割化を緊急に中止せよ!!

【速報】東京高齢期運動連絡会
2023年2月1日(水)版
tokyo.koureiki@gmail.com
豊島区南大塚3-1-12
生方ビル4階
03-5956-8781

2・1高齢者中央集会

老人医療有料化から40年

2・1 高齢者中央集会は、1983年老人医療有料化に抗議する怒りの行動を起源に、今年第41回を迎え43人が会場参加、Webから128接続がありました。

全日本年金者組合の杉澤さんが「憲法を砦に、要求運動を力に闘おう」と主催者あいさつを行いました。

歴史に学び闘いを広げるとき

前澤さんが講演

元東京社会保障推進協議会事務局長 前澤淑子さんが「年齢でいのちの差別は許さない！歴史から学んで 国民みんなが安心して医療が受けられるように」というテーマで学習講演を行い、今こそ歴史に学んで闘いを広げるときと訴えました。

奈良から来た87歳の参加者は、昨年6月予定の手術が10月に延び2割負担になった。奈良では「軍拡止めろ、年金上げろ、医療費下げろ」と座り込みを行う。と決意を語りました。

アンケートに高齢者の悲痛な声

全国保険医団体連合会の曾根さんは、アンケートへの声「80歳 負担が2割になったので歯科は止めました。眼科は目薬を1日3回を2回にして診察を伸ばす」などを紹介。三重の歯科医 梅村さんは、「自分の負担が増えるなら署名したくない」という現役労働者に「月30円位の負担でおじいちゃんおばあちゃんの1割を維持できるんです」と話して署名を得た経験も話されました。全日本民主医療機関連合会の山本さんは、「長生きしすぎている。若い人たち(孫)に負担が行く位なら仕方がない」と書かれたアンケートを紹介、こんな言葉を老人に書かせる政府は許せない。と怒りを語り。全日本年金者組合の



加藤さんは、「日本高齢者人権宣言」を力に闘うことを訴え、フランスで現在闘われている年金大闘争を紹介。神奈川の高齢期運動連絡会の佐藤さんは、学習と怒りを組織することを力に旺盛に闘い直近1年で6万6千筆越える署名を集めた神奈川の運動を報告しました。

大軍拡を止めさせ社会保障拡充を求める運動を雄広げよう

畑中さんが行動提起

日本高齢期運動連絡会の畑中さんが、大軍拡増税を止めさせ社会保障の拡充を求め、人権を軸に据えた運動を進めよう、統一地方選挙を政治を変えようと呼びかけ、中止署名の早期100万筆達成、2割化後の実態を発信し運動を広げようことを提起しました。

全国保険医団体連合会 住江会長が閉会あいさつを行い、終了後に参加者で議員要請を行いました。

集会には、日本共産党の倉林明子参議院議員が参加。集会終了時に立憲民主党の吉田統彦参議院議員が激励に駆けつけました。

Youtube から視聴可能

集会の様子は Youtube から見るができます。

<https://youtu.be/ZXSAopl1bexY>

(前澤さん講演9分～1時間9分)

アンケートに寄せられた声などの資料も Youtube のページから見るができます。